

中村俊定文庫
文庫 18
532





安永五申歳

元日



安中亭

離行

あつ玉の春や世客の持移る

いつも目如交万葉の顔

麥水

新し梅通語の秋恋音燦て

一化

其二

物 鷄や又あふりし耳の垢

汎松亭
峰水

鹿の角もも法代の若女

ト鹿

晴の二粒霞後枯藤の景極して

野童

其二

多川の斗雑煮の湯気のみ霞

尋月堂
倭文

松青くとと草葉乃山

壽大

春風不荒芭の湖とや志の婦人

莫友

三朝

元故を以て

前髪の強あきう子幼日か

乾稚

る物の方うたふや明の春

鳥明

春をまはせの阿さする種あつ

一化

世尔人よたろやのゆぬ初日か

莫友

若るくゝ讃頌の歌とよもは春

百秀

手尔能葉の是始くや明の春

壽大

物空や雪の高根よ日能光

吳考

おみはのく小峠服よ手幼日か

朽柯

昨日きて今能あつなりねる能

野童

吟梯ふま葉の露や初霜者
ト鹿

羨しやりきそ神の大且
麥水

幾且りきて原和を初日款
毒星

晩年

まのせの杖つゝさるきと年の坂

まのせの杖つゝさるきと年の坂
麥水

冬々うまふ年の轄や今一日
ト漆

手既尔霍の額ひふ初うり
聖臺

少女かくとあへ〜と年の笑為が
朽木

女ともいふみあひく厄を〜ハセり
吳菊

人さみふふをりつるや二年の川

素大

セリーさきふ地ふ海一長人

る秀

あふり成て菊はくらふ今日盛

葉友

非き物も是是是すは身言

一化

蓮葉も振しくあふ川あふ乃言

馬明

り年光塵を巻くは世とも

乾雅

陽を其中ふはあれ所走川

傷夕

芽作るも日くふ花何年此梅

峯水

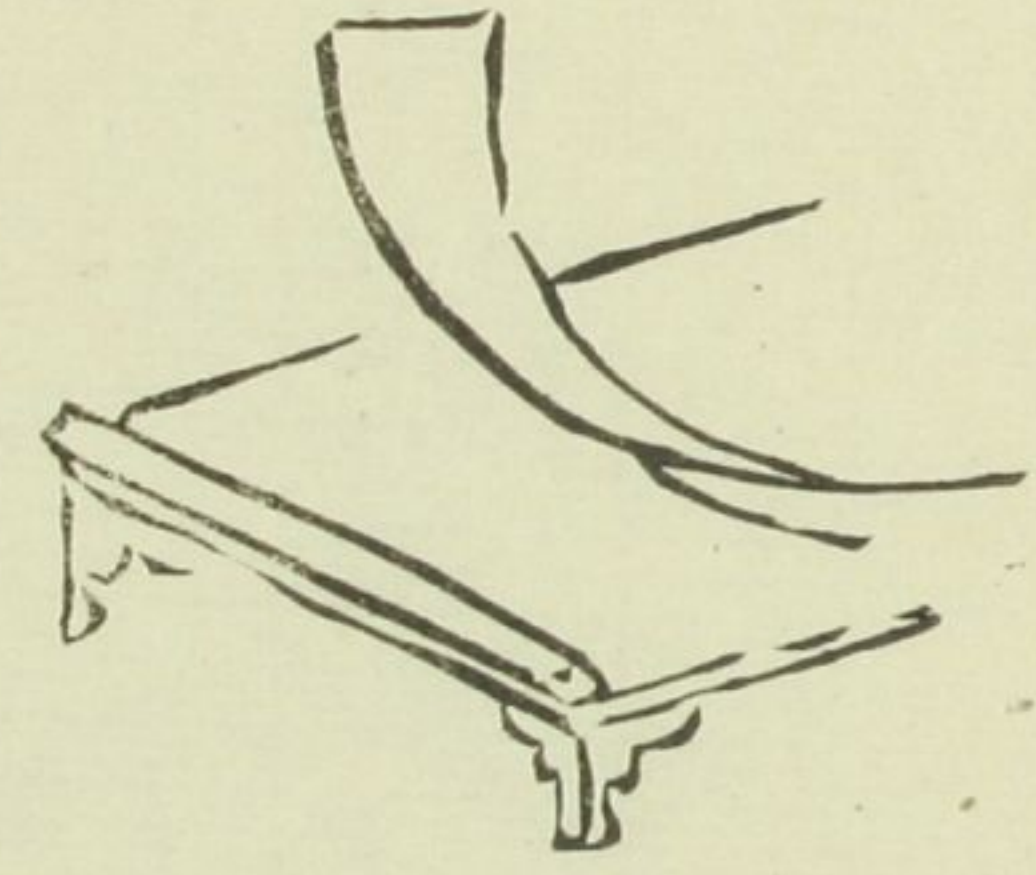
古の事歌塵をとり結ぶ意也

雜切

大二千日名残の裏ふ月色海

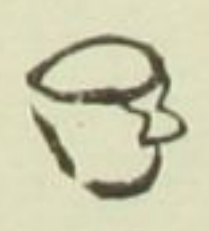
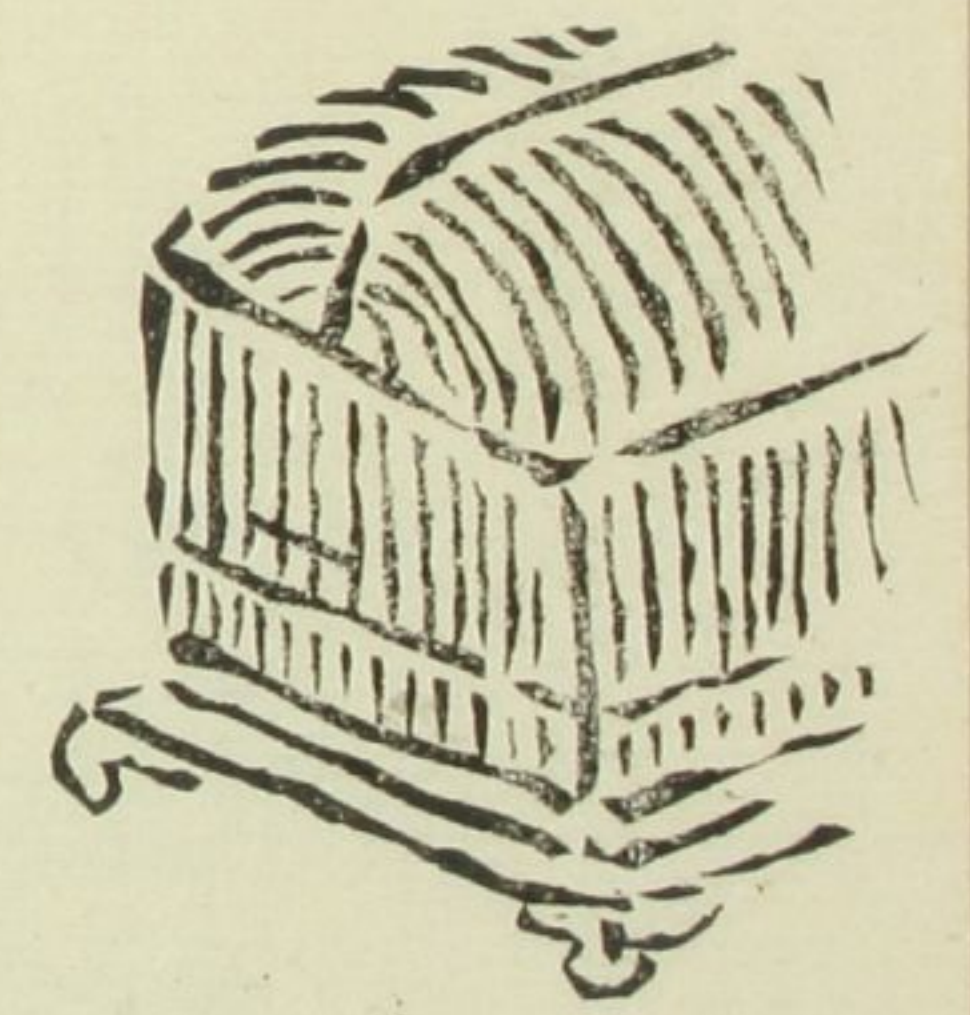
器性

心
色
の
毒
春
の
あ
本
は
な



莫
友

閑
人
を
た
く
や
師
走
の
美
話
音



莫
友



斗ふまじあけく置る

茶店の帯しる

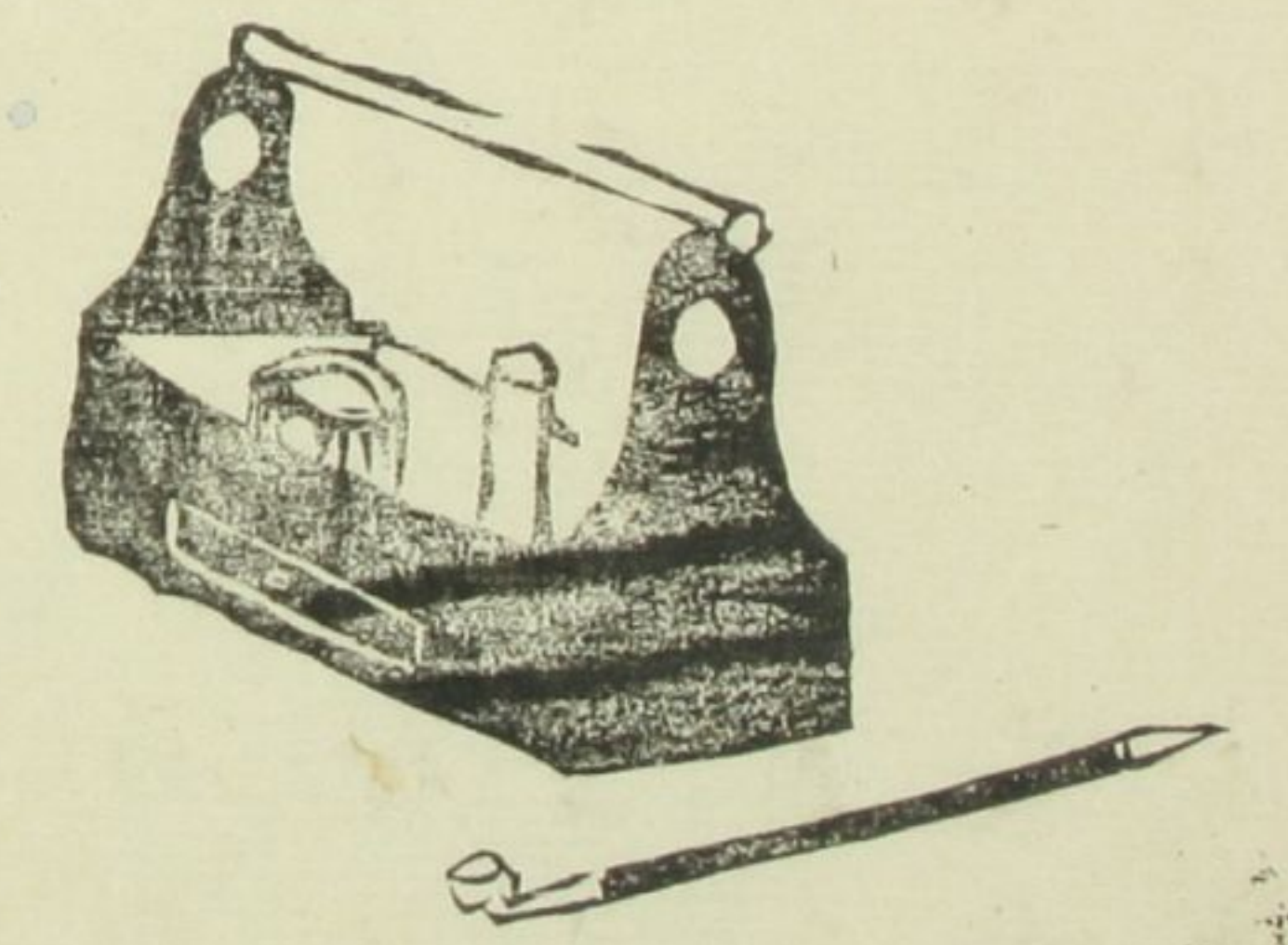
舞り
心

衝みり申猪子手紙
出候生体御心

まきり



去つら夫を
 川を
 かひを
 柳



51

倭夕

妻の奥

赤は、赤魚あり、尾首を、し、画と、記、を、ま、る、し、
 是、則、連、流、を、ま、る、し、赤、魚、の、尾、首、を、ま、る、し、
 是、則、連、流、を、ま、る、し、赤、魚、の、尾、首、を、ま、る、し、

一雪をふりともさきと方へと流るるの
 いろく〜 嗟けと同一梅の香
 山陰の里もささあう妻みわて
 芝草を打つ道さ〜 如露
 海しち月にころみ有るん
 紅葉の中尔帯〜 ゆ〜 赤衣
 百秀
 倭夕
 莫友
 壽大
 麦水
 卜康

さねのりく 西母吹と朝寒
髪うき 梅中 裏之 一 同
さうよ 置て せうと 壺の石
ねとこ けうらうら 糸 分 別
唐も 如 卯 之 足 落 土
鳥と きのき けり 脚 志 志
上手にも けい 志 志 志 志
月も けい 志 志 志 志

くちろ 志の きん 志 志 志
二 志 目 志 志 志 志
志 や 志 志 志 志 志
志 志 志 志 志 志 志
志 志 志 志 志 志 志
志 志 志 志 志 志 志
志 志 志 志 志 志 志
志 志 志 志 志 志 志
志 志 志 志 志 志 志
志 志 志 志 志 志 志

山

野童 号考 乾雅 雞川 婁星 朽柯 一化 峯水 馬明 枕筆 庶 友 童 稚 麻 柯

己々必承 謝の字、佛佛神
解にも 味暗も せり酒
種 瓢 ちりりと 留守 せして
扇の 風乃 律 尔 おさま 歌
夕名の 力 尔 すこあやせ 秘め せられ
中判 けうさ ぬ 離別 す ぶ 舞
奥なる せ 我 之 其の 眞加 する ぎ
離 繁 けり 王 氏 其 之 けり 純 と

友 峯 麦 考 秀 星 大 化

はー 延る 病 後 尔 居る 夕 朝 の 雪
梅 乃 月 燈 乃 紅 櫻 鍵 指
ちり 統 へ ちり ぬ ちり ぬ 出 せ 尺 八
箴 之 ちり ちり 若 點
花 の 山 松 乃 竹 乃 尔 の ちり 人
皆 乃 ちり ちり 乃 松 乃 乃 乃 乃

夕 火 象 吻 化 臺

如例年除えともの
与城農事とて昔の人計と

良く事く亦
はくも

尋月堂

ありく道と
事

西平

自得所

